

JACET Kansai Newsletter

No. 90 July 30, 2021

一般社団法人大学英語教育学会関西支部 (JACET Kansai Chapter)

支部長: 植松 茂男 (同志社大学) (Chapter President: Shigeo UEMATSU, Doshisha University)

事務局: 〒650-8586 兵庫県神戸市中央区港島1丁目1-3 神戸学院大学

グローバル・コミュニケーション学部 仁科 恭徳 研究室内

(Chapter Office: c/o Yasunori NISHINA, Faculty of Global Communication, Kobe Gakuin University)

URL: <http://www.jacnet-kansai.org/> (関西支部へは左の URL からご連絡ください)

「東京オリンピックの年の7月末に思うこと」

照井 雅子 (副支部長)

京都の夏の風物詩である祇園祭は昨年に続き今年も山鉦巡行の中止が早々に報じられましたが、山鉦巡行が行われるはずだった7月17日に近畿地方の梅雨が明けました。今年の梅雨は62日間にわたり、記録が残る1951年以降で最も長かったそうです。期間の長さもですが、雨の頻度や量の多さも気になりました。熱海の土石流災害に続き、激しい雨により鳥取・島根で30万人以上の方に避難指示が出されるなど、局地的な被害をもたらす気候変動の影響は数年前から殊に深刻化している印象があります。会員の皆様やそのお知り合いで被害に遭われたり、怖い思いをなさった方はいらっしゃいませんか。お見舞いを申し上げます。

一方で、昨年来のCOVID-19パンデミックの影響も続いています。大阪府では3度目の緊急事態宣言終了後の今も、8月22日までのまん延防止等重点措置に基づき、不要不急の外出を控えるよう協力が求められています。大阪府の緊急事態宣言は、2021年では1月13日-2月28日と4月25日-6月20日に発令されています。2021年の前半6カ月(181日間)では、緊急事態宣言下で104日、まん延防止等重点措置下で10日を過ごし、いわゆる「普通」の日は67日でした。

「緊急」が日常になっている状況で、会員の皆様もご自身が関わる教育を少しでも良いものにと願い、授業運営にご苦勞なされていることと存じます。この間、完全オンラインで実施されていた授業の一部または全てが対面授業に戻り、一方でオンライン授業も継続されており、対面とオンラインのハイブリッド型の授業運営にも少し落ち着きが出てきました。これまでの1年半の経験や知見の蓄積により、対面かオンラインかといった二項対立にとられることのない議論も深まってきています。また、6月中旬から、すべての大学で一斉にとまではいかないながら、学生や教職員を対象としたワクチンの職域接種が進んでおり、光明が差ししてきました。勤務校では、昨年から見送られていた海外留学についての希望者の考えを尊重しながら

ら現地と相談し、前向きな指導を再開しました。

このニューズレターが発行されるのは、東京オリンピック開幕後1週間が経過した頃となりますが、感染状況が気になります。大会が無事に終了することを心から願うばかりですが、9月半ばから後期授業が始まる大学では、感染状況に応じた対応も求められますので、誰にとっても先の見えない状況ながら、様々な準備や心づもりも必要だと思われま

JACET 関西のニューズレターの前号で支部長の植松茂男先生が「先の見えないこの試練により、従来の大学英語教育のあり方が、多様に変容してゆくよい機会であると捉えるべきであろうと思います。」と書いておられます。植松先生のお言葉を引かせていただき、今後のJACETの予定をお知らせします。まず、8月25日-29日に「JACET 創立60周年記念ウィーク」として第48回サマーセミナー(2日間)と第60回記念国際大会(3日間)が開催されます。それぞれのテーマは「時代が変わる、指導が変わる、教材が変わる-わたしたちは何をすべきか」「時代の変化を乗り越える英語教育-Society 5.0という現実を迎えて」というものです。また、11月20日にはJACET 関西の支部大会も予定されています。昨年に続き今年度もオンライン開催です。昨年度の関西支部大会の成功要因の一つは、オンデマンド開催により支部の垣根を越えた多くの方の参加をいただけたことにありました。今年度は、インターネットによる動画配信とWeb会議システムを用いたリアルタイムでの運営を上手に組み合わせ、研究企画委員会の先生方がさらに魅力のある内容となるように計画・推進して下さっています。大会テーマは「ポスト・コロナを見据えた英語教育」というまさに時機を得たものです。試練の時かもしれませんが、JACETでこうした企画が進んでいることを心強く思います。植松先生の前号でのお言葉を再度引かせていただきます。「危機の時こそ、各大学・ディシプリンの垣根を越えて、関西の研究者・教育者が今後の大学英語(外国語)教育のあるべき方向性を考え

てゆく場として、JACET 関西支部に集っていただければ幸いです。」

猛暑の夏、どうぞお身体を大切にお過ごしください。JACET「創立 60 周年記念ウィーク」「関西支部大会」で会員の皆様とお元気にお目にかかれますことを楽しみにしております。(近畿大学)

■ 支部研究会のご案内 ■

関西支部では 11 の研究会が活発に活動しています。以下に、本年度の各研究会名、代表・副代表者名、代表・副代表者連絡先を紹介いたします。各研究会では原則として、常時、新入会員の申込みを受け付けておりますので、興味・関心のある研究会がありましたら、お気軽に各研究会の代表者までご連絡ください。また、最新の活動情報は、支部ホームページ (<http://www.jacet-kansai.org/>) にてご確認ください。

The Kansai Chapter has the following 11 Special Interest Groups (SIGs) that meet regularly. According to our policy, they are run as two-year projects, being renewed every two years with new leaders. Please refer to the Kansai Chapter website (<http://www.jacet-kansai.org/group.html>) for more information, or contact the leader of the SIG in which you are interested.

◆文学教育研究会 (Literature in Language Education)

代表：五十川 敬子 (同志社大学)

czk11355[AT]nifty.com

副代表：時岡 ゆかり (大阪産業大学)

ytokioka[AT]int.osaka-sandai.ac.jp

◆学習英文法研究会 (Pedagogical English Grammar)

代表：前川 貴史 (龍谷大学)

maekawa[AT]soc.ryukoku.ac.jp

副代表：西脇 幸太 (愛知文教大学)

hot_corner_55[AT]hotmail.com

◆ESP研究会 (English for Specific Purposes)

代表：藤枝 美穂 (大阪医科大学)

mfujieda[AT]osaka-med.ac.jp

副代表：スミス 朋子 (大阪薬科大学)

smith[AT]gly.oups.ac.jp

◆「海外の外国語教育」研究会 (Foreign Language Education Abroad)

代表：二五 義博 (海上保安大学校)

nigo[AT]jcg.ac.jp

副代表：大場 智美 (多摩大学)

ohba-t[AT]tama.ac.jp

◆教材開発研究会 (Materials Development)

代表：松村 優子 (近畿大学)

yuko-ma[AT]kcc.zaq.ne.jp

副代表：香林 綾子 (平安女学院大学)

contepastel[AT]hotmail.com

◆リスニング研究会 (Listening)

代表：高橋 寿夫

takahasi[AT]cwo2.bai.ne.jp

副代表：神野 雅代 (四天王寺大学)

kanno[AT]shitennoji.ac.jp

◆リーディング研究会 (Reading)

代表：星原 光江 (光華小学校)

stafes07-pbmh[AT]ktj.biglobe.ne.jp

副代表：西 美都子 (京都大学)

mitsuko.nishi[AT]gmail.com

◆ライティング指導研究会 (Writing Research)

代表：大年 順子 (岡山大学)

otoshi-j[AT]okayama-u.ac.jp

副代表：嶋林 昭治 (龍谷大学)

shima777[AT]biz.ryukoku.ac.jp

◆授業学 (関西) 研究会 (Developmental Education)

代表：飯田 毅 (同志社女子大学)

tiida[AT]dwc.doshisha.ac.jp

副代表：村上 裕美 (関西外国語大学短期大学部)

hiromim[AT]kansai-gaidai.ac.jp

◆科学英語教育研究会 (English for Japanese Scientists)

代表：湯浅 麻里子 (追手門学院大学)

maritama0617[AT]gmail.com

副代表：浅野 元子 (大阪医科薬科大学)

motoko.asano[AT]ompu.ac.jp

◆アカデミックリテラシー (Academic Literacy)

代表：長尾 明子 (龍谷大学)

a16006[AT]mail.ryukoku.ac.jp

副代表：上條 武 (立命館大学)

tkamijo[AT]fc.ritsumei.ac.jp

■ 2021 年度第 1 回支部講演会の報告 ■

2021 年度第 1 回支部講演会が、2021 年 6 月 19 日 (土) にオンラインで開催されました。講演会には約 70 名の参加があり、関西大学の新谷奈津子先生に発表して頂きました。ティーチング・アプローチ/メソッドの比較という観点から、特に TBLT と PPP の比較研究を数多く取り上げ、主に TBLT の有効性を示すと共に、過去の比較研究の欠点や改善点などを網羅的且つ精緻に紹介されました。また、ブレイクアウトセッションの時間もあり、出席者同士が活発に交流することができました。Q&A の時間も、新谷先生は出席者の質問に真摯に答え、有意義な意見交換がなされました。多くの皆様のご参加、ご協力誠に有難うございました。

1. 日時：2021 年 6 月 19 日 (土) 15:30~17:00

2. 会場：オンライン (Zoom)

3. 演題 Comparative Studies of TBLT and other approaches

The First Kansai Chapter Lecture Meeting of AY 2021 was held online on Saturday, June 19, 2021. About 70 people attended the lecture, which was presented by Prof. Natsuko Shintani of Kansai University.

From the perspective of comparison of teaching approaches/methods, she covered a number of comparative studies between TBLT and PPP in particular, mainly demonstrating the effectiveness of TBLT, but also comprehensively and elaborately introducing the shortcomings of past comparative studies and the points to be improved. During the breakout sessions, the participants were able to interact with each other actively, and during the Q&A session, Prof. Shintani answered the questions raised by the participants sincerely, resulting in a meaningful exchange of opinions. Thank you very much for your participation and cooperation.

1. Date: Saturday, June 19, 2021, 15:30–17:00
2. Venue: Online (Zoom)
3. Titles: Comparative Studies of TBLT and other approaches

■ 2021 年度第 2 回支部講演会のお知らせ ■

2021 年度第 2 回支部講演会は、下記の通り「ライティング指導研究会」によるシンポジウムを予定しています。支部の研究会の活動を知る良い機会です。皆さまのご参加をお待ちしております。詳細は、支部ホームページをご覧ください。

1. 日時：2021 年 10 月 16 日（土）15:30～17:00
2. 場所：オンライン（Zoom を予定。詳細につきましては、後日支部ホームページにて案内いたします。）
3. テーマ：「遠隔授業でのライティング指導」
4. 演題と講師：
 - (1) 「Social Citizen としての英語発信－社会的意識を視野に」(蔦田 和美 先生・関西外国語大学短期大学部)
 - (2) 「ESD クラスでのチャットを活用した協働的プレライティング活動」(野田 三貴 先生・大阪市立大学)
 - (3) 「オンライン下でのプロジェクト発信型英語プログラムの挑戦－その取り組みと課題」(山下 美朋 先生・立命館大学)
 - (4) 「大学院共通科目アカデミック・ライティングにおけるオンライン（オンデマンド）授業

の試み」(山西 博之 先生・中央大学)

5. 司会：大年 順子 先生（岡山大学）

6. 概要：

(1) 言語と社会を結ぶことの重要性を踏まえると、大学における英語習得では、言語的習得にとどまらず、社会的意識を構築し自らの主張を表明する力の育成が求められる。ライティングにおいても社会情勢に対する「自分の声」をもつことの重要性は広く認識されている。しかし概して学生の社会に対する関心の低さが散見されること、またこれまでライティングにおける評価において言語知識が優先される傾向にあるという実情もある。このような状況の中、学生が social citizens として英語学習を行う機会として、学生が英語で社会を考える授業実践を行い、彼らの argumentative writing skills および社会的意識の変化の検証を継続している。本発表では具体的な課題を紹介するとともに、成果の一例として授業前後のライティングの議論性(Argumentativeness)の向上を報告する。

(2) COVID-19 の蔓延を受けて、2020 年は様々なタイプの学習活動がオンラインで展開した。大阪市立大学でリテラシー強化科目として展開している ESD (Education for Sustainable Development) の 1 授業では、課題解決型グループプレゼンテーションの原稿作成に LMS のチャットを活用し、協働のプレライティング活動の促進を図った。学生は、課題解決型プレゼンテーションの構成を理解した上で、チャットで話し合いながらアウトラインを作成し、内容が整理された裏付けのあるプレゼンテーション作りに取り組んだ。本発表では、チャット内容、教師の介入、ならびに授業の振り返りシートの結果を紹介し、チャットを活用した協働的プレライティング活動の利点と課題について報告する。

(3) 2020 年度移行、コロナ禍で大学の授業の多くは対面からオンラインに移行せざるを得なかった。立命館大学生命科学部・薬学部では、ICT を駆使したプロジェクト発信型英語プログラムを展開しており、教員が協働で作成したテキストおよび動画教材をネット上に集め、それらを利用することにより比較的スムーズにオンライン授業を行うことができた。また同学部で展開しているライティング支援センター SAPP (Support for Academic Projects and Papers) の院生チューターも学部生の課題のオンライン相談を行い、授業外の支援を充実させた。本発表では、コロナ禍でのプロジェクト発信型英語プログラムと SAPP の取り組み、その成果と課題について報告する。

(4) 総合大学の全研究科（博士前期課程、博士後期課程の大学院生および先行履修の学部 4 年生）対象の大学院共通科目である「アカデミック・ライティング」において、2020 年度、当初の予定に反し実施することになったオンライン（オンデマンド）形式の授業における工夫点および本授業を受講した学生からの

フィードバックについて報告する。

7. 参加費：JACET 会員・非会員共に無料。事前申込要。
8. 使用言語：日本語

Kansai Chapter Second Lecture Meeting of AY 2021

The Kansai Chapter Second Lecture Meeting of the 2021 academic year by the Writing Research Group will be held as follows:

1. Date: Saturday, October 16, 2021, 15:30–17:00
2. Venue: Online (Zoom) *The details will be notified on the Kansai Chapter website soon.
3. Theme: “Writing Instruction in Distance Learning”
4. Titles & Speakers:
 - (1) English Production as a Social Citizen: Focusing from a Social Awareness Perspective (Prof. Kazumi Tsutada, Kansai Gaidai College)
 - (2) Collaborative Prewriting Activities Using an LMS Chat Function for an ESD Course (Prof. Miki Noda, Osaka City University)
 - (3) The Challenges of Online Instruction: The Case of Project-based English Program in Ritsumeikan University (Prof. Miho Yamashita, Ritsumeikan University)
 - (4) Report on Online (On-demand) Class for Academic Writing in the Common Graduate Education (Prof. Hiroyuki Yamanishi, Chuo University)
5. MC: Prof. Junko Otoshi (Okayama University)
6. Abstract:
 - (1) Keeping the significance of connecting language and society in mind, the requirements for English learning at universities not only include the acquisition of linguistic knowledge, but also the establishment of social awareness and ability to express one’s views and claims on social issues. The importance of showing one’s “voice” in writing has been widely acknowledged in academic and pedagogical fields. Generally, however, university students’ tendency of having limited interest in social issues and little consciousness as social citizens is of much concern. In addition, it has been found that evaluation of English writing has still been prioritized by linguistic aspects. Under these circumstances, the presenter, as an opportunity for students to learn English as social citizens, has formulated activities by which students can think about the world around them in English, and so far identified the changes and transition of their argumentative writing skills, as well as social awareness. Along with details of assignments given

during a single semester, the results of pre- and post-writing evaluation will be shown in the presentation.

(2) In response to the Covid-19 pandemic, various types of learning activities were developed online in 2020. One of the ESD (Education for Sustainable Development) courses, which are provided as literacy subjects at Osaka City University, utilized a chat function in an LMS. This facilitated students’ collaboration on prewriting activities in preparation for giving a problem-solution presentation. After understanding the structure of a problem-solution presentation, students collaboratively created an outline through their chat discussions to make sure their presentation was organized, focused and their ideas adequately supported. In this session, the presenter explains how students’ prewriting activities worked with reference to their chat logs, teacher feedback and a class reflection sheet.

(3) In 2020, almost all the classes went online in universities due to COVID-19. In Life Sciences and Pharmaceutical Sciences in Ritsumeikan University, teachers in Project-based English Program provided students with their hand-made teaching materials and movies, making online teaching easy and productive. A wiring center called SAPP (Support for Academic Projects and Papers) also offered online consultations regarding how to effectively conduct projects for Project-based English program in these two departments. In this presentation, the details of how we, teachers as well as tutors, have overcome this unprecedented teaching period in both 2020 and 2021.

(4) This presentation will report on the innovations in the online (on-demand) style of an "Academic Writing" course, a common graduate course for all graduate students at a university. The course was, however, initially designed as a face-to-face course. This presentation will also report on the feedback from students who have taken this course.

7. Fee: JACET member and nonmember, free. Need to pre-register.
8. Main language for presentation & Q&A: Japanese.

Details are available at the Kansai Chapter website (<http://www.jacet-kansai.org>).

■ 2021 年度第 3 回支部講演会のお知らせ ■

2021 年度第 3 回支部講演会は、下記の通り、JACET 関西支部授業学研究会による講演を予定しております。皆さまのご参加をお待ちしております。詳細は、

支部ホームページ (<http://www.jacet-kansai.org/>) にて、後日ご案内申し上げます。

日時：2022年3月19日(土) 15:30~17:00(予定)

場所：オンライン (Zoomを予定)

内容：関西支部 授業学研究会企画

Kansai Chapter Third Lecture Meeting of AY 2021

The Kansai Chapter Third Lecture Meeting of the 2021 academic year will be conducted by the Developmental Education Kansai Chapter SIG as follows:

Date: Saturday, March 19, 2022, 15:30–17:00

Venue: Online (Zoom) *The details will be notified on the Kansai Chapter website soon.

Theme: Study Group for Developmental Education Kansai Chapter

Details will be available at the Kansai Chapter website (<http://www.jacet-kansai.org/>) at a later date.

■ JACET 第60回記念国際大会のお知らせ ■

2021年8月27日(金)から29日(日)までオンラインにて第60回国際大会が開催されます。皆様のご参加をお待ちしております。

テーマ：時代の変化を乗り越える英語教育—Society 5.0という現実を迎えて

日程：8月27日(金)～8月30日(日)

場所：オンライン

要旨：本記念大会では、この未曾有の変化の局面にあって、「教室」という教育空間を共有できない状況における大学教育の現実を見つめ直し、他学会やアジアを始めとする各国と協力しながら、この環境下における最適な英語教育とは何か、われわれの目指すべき英語教育の姿とは何か、そもそも学会の本来の役割とは何かを今一度問い直す場としたい。

JACETは、今大会で60回目の節目を迎えるが、次の10年はこれまでの10年、20年とは大きく異なる時代になるであろう。次の10年が大きな飛躍の時代となるか、それとも混乱と低迷の時代となるかは、まさにこの節目をどう乗り切るかにかかっている。教材、指導法や学習法、カリキュラムや評価、コミュニケーションの方法など、ありとあらゆる面での変化が求められている中、変わらなければならないものと変わらないもの、変わってはならないものを見極め、これまでの総括を行いつつ、次の10年を乗り切るための新たな英語教育の姿を模索する大会となることを願い、

「時代の変化を乗り越える英語教育—Society 5.0という現実を迎えて」という大会テーマを掲げることとする。

詳細は、第60回国際大会ホームページ (<https://jacet.org/jacet60th/>)をご覧ください。

The JACET 60th Commemorative International Convention

Theme: English Language Education to Endure Changing Times: Facing the Reality of Society 5.0

Date: Friday, August 27—Sunday, August 29, 2021

Venue: Online

Abstract: In this time of unprecedented change, we would like our convention to take a fresh look at the reality of university education where the educational space of the “classroom” cannot be shared.

In cooperation with other academic societies, and with other countries in Asia and elsewhere, we want the convention to be a place to think afresh about what an optimal English education might be within such an environment, about the kind of English education we should aim for and, indeed, about the role academic societies such as ours ought to truly play in this.

With this 60th convention, JACET marks a turning point. The next decade, however, will most likely be very different from the previous 10-20 years. Whether it will witness great leaps forward or be a period of turmoil and stagnation, depends very much on how we work through this turning point. As we are asked to make changes in teaching materials, teaching, and learning methods, curriculum and assessment, and communication methods, we must ascertain what must change, what will not change, and what should not change. While assessing our past activities, we hope this convention will provide an opportunity to search for a new English language education that will help us weather the next decade. For these reasons we announce the convention theme - “English Language Education to Endure Changing Times: Facing the Reality of Society 5.0” .

For details, please visit the 60th Commemorative International Convention website (<https://jacet.org/jacet60th/>).

■ 2021年度関西支部大会のお知らせ ■

2021年度の支部大会は、以下の通り11月20日(土)にオンラインにて開催されます。

日時：2021年11月20日(土)※

※質疑応答や招待ワークショップを行う日時となります。オンデマンド配信期間など、その他の詳細は後日関西支部 Web ページに掲載いたします。
方法：インターネットによる動画配信と Web 会議システムの併用（詳細は後日関西支部 Web ページに掲載いたします。）

大会テーマ：「ポスト・コロナを見据えた英語教育」

基調講演：日野信行先生（大阪大学）

招待ワークショップ：木村修平先生（立命館大学）

特別講演：水本武志先生（ハイラブル株式会社）

研究発表申込：7月1日（木）～8月22日（日）

発表をご希望の方は、次の要領で WEB フォームよりご応募ください。教員だけでなく、大学院生の会員による応募も歓迎いたします。会員の皆様の積極的なご応募をお待ちしております。8月22日午後23時59までにお申し込み下さい。

<<発表申込方法>>

発表申込に関する詳細は以下の通りです。

- 1) 発表は、英語教育および関連分野に関する内容で、未発表のものに限ります。
- 2) また、発表者は、共同発表者も含めて、申込時に JACET の会員である必要があります。
- 3) 発表言語は、日本語または英語です。
- 4) 発表種別・時間に関しては、以下の通りです。

- 研究発表：理論的、実証的な研究成果に関する発表動画（20分間）を作成し、10/30（土）までに提出する。また、大会当日である11/20（土）にリアルタイムで実施する Q&A に参加する。
- 実践報告：授業実践やカリキュラム改革に関する発表動画（20分間）を作成し、10/30（土）までに提出する。また、大会当日である11/20（土）にリアルタイムで実施する Q&A に参加する。

※今年度は、例年実施している一般ワークショップ、コロキウム、ポスター発表は実施いたしません。

※動画提出の詳細は、発表採択後に該当者へ E-mail にて個別にお知らせします。発表応募時に動画を提出する必要はありません。

- 5) 発表をご希望の方は、以下の WEB フォームよりご応募ください。

2021 年度 JACET 関西支部大会発表申込フォーム：
<https://forms.gle/b4NreXweisfP1m46A>

A) 応募情報

- a) 発表形式：研究発表、実践報告の別
- b) 発表題目（日本語および英語、英語の場合はタイトルの各単語をキャピタライズしてください）
- c) 発表者情報（共同発表者は氏名と所属のみ）：氏名（日本語と英語）、所属（日本語と英語）、E-mail アドレス
- d) 発表に使用する言語（日本語もしくは英語）

B) 発表要旨

- a) 内容：「研究発表」の場合は、背景、目的、リサーチクエスション（仮説）、方法（対象・内容・期間等）、結果、考察を、「実践報告」の場合は、背景、方法（対象・内容・期間等）、（結果）、結果に関する考察を簡潔に明記ください。いずれの場合も引用文献リストは要旨に含めません。
- b) 分量：日本語の場合は400字～600字、英語の場合は200～300 words とします。

審査は、JACET 関西支部研究企画委員会にて行います。また、審査結果は、9月12日（日）以降に E-mail にて通知します。また、必要に応じて修正依頼を行います。

審査結果通知後の辞退は原則としてできません。

- Kansai Chapter 2021 Conference -

Kansai Chapter 2021 Conference will be held online on November 20 (Saturday) as follows:

Date: November 20 (Saturday), 2021*

*An invited workshop and real-time Q&A sessions are to be held on the above date. Further details will be posted on the Kansai Chapter's website.

Venue: Online** (On-demand distribution of videos online and real-time Q&A sessions with an online meeting system)

** Further details about the venue will be posted on the Kansai Chapter's website.

Conference Theme: Looking Ahead to English Language Education in the Post-COVID-19 Pandemic Era

Keynote Lecture: Dr. Nobuyuki Hino (Osaka University)

Invited Workshop: Dr. Syuhei Kimura (Ritsumeikan University)

Special Lecture: Dr. Takeshi Mizumoto (Hylable Inc.)

Call for papers:

Thursday, July 1 – Sunday, August 22, 2021

JACET members are invited to submit applications for research papers and practical reports. Applications are also welcome from graduate students. Please fill in the application form below and send it to us no later than 23:59 on August 22, 2021.

The conditions and procedures for proposals are as follows:

- 1) Proposed topics should be relevant to English education and/or related fields. The proposed material should not have been presented elsewhere.
- 2) Prospective presenters (both representative presenters and collaborators) must be JACET members at the time of submission.
- 3) The language for presentation should be either English or Japanese.
- 4) Presentation types and time allotments are as follows:
 - Research papers: Presenter(s) will describe theoretical or empirical research. All the presenters are to be required to submit a 20-minute video-clip of their presentation(s) by October 30 and join real-time Q&A sessions on the conference date (i.e., November 20, Saturday) using an online meeting system.
 - Practical reports: Presenter(s) will describe classroom activities or ELT curriculum innovation. All the presenters are to be required to submit a 20-minute video-clip of their presentation(s) by October 30 and join real-time Q&A sessions on the conference date (i.e., November 20, Saturday) using an online meeting system.
- * Poster sessions, workshops, and colloquia are not scheduled this year.
- * Further submission details regarding the recording of presentations will be sent via e-mail to accepted applicants. The recording does not have to be made at the time of application.
- 5) A web-based proposal form is available from July 1 to August 22.

JACET Kansai Chapter Conference 2021 Application Form: <https://forms.gle/b4NreXweisfP1m46A>

A) Application form:

- a) Type of proposal (research paper or practical report)
- b) Title of proposal (English and Japanese)
- c) Information about applicant(s): name, affiliation, e-mail address
- d) Language for presentation (English or Japanese)

B) Abstract:

- a) For a research paper, describe the background and purpose of the study, research questions [hypotheses], research methods (participant characteristics, details, terms and so on), results and discussion. For a practical report, give the background of the report, research methods (participant characteristics, details, terms and so on), (results), and discussion. Do not include references in the abstract.
- b) Should be 200-300 words if in English or 400-600 characters if in Japanese.
- c) If not a native speaker of the language used, have a native speaker check the abstract before submission.

The proposals will be peer-reviewed by the Research Planning Committee. Review results and feedback, as necessary, will be sent by after September 12. In principle, cancellation after the acceptance of the presentation is not permitted.

=====

JACET関西支部 研究企画委員会
JACET Kansai Chapter Research Planning Committee
jacetkansaiconf@gmail.com

■ 紀要編集委員会より ■

今年度刊行の第24号支部紀要は、研究論文、研究ノート、実践論文、さらに支部大会・全国大会で発表された内容や各研究会活動に基づく実践報告を募集しています。支部会員の皆様におかれましては、研究・実践の成果を会員および多くの方々に共有していただけるように、第24号に奮ってご応募ください。

なお今回の第24号から、APA第7版の論文書式を採用いたします。投稿される皆様におかれましては、投稿書式、チェックリスト等をご確認のうえ、関西支部ホームページ投稿要領 (<http://www.jacetkansai.org/submission.html>) の投稿用テンプレートをそのままご使用いただければ幸いです。

投稿期限：2021年9月30日（木）午後11時59分
論文送付先：紀要編集委員会 事務局長
齊藤 倫子（関西学院大学）
jacetkj@gmail.com
（[AT]を@に置き換えてください。）

提出方法：ウェブサイトでの申し込みと電子メールでの添付ファイル（WORDとPDF）。
（原稿郵送は不要です。）

※ 受領後3日以内に事務局より確認の返信が届きま

す。万一、3日経っても返信が届かない場合は、
齊藤倫子まで再度ご連絡ください。

※ 提出方法の詳細は、支部ホームページ
(<http://www.jacet-kansai.org/submission.html>) をご
覧ください。

重要な日程：

2021年 9月30日 (必着) 投稿原稿締め切り
12月1日 審査結果通知
2022年 1月6日 (必着) 最終修正原稿締め切り
3月31日 刊行

JACET Kansai Journal Call for Papers

Kansai Chapter members are welcome to submit manuscripts for consideration for publication in JACET Kansai Journal (JKJ) No. 24.

Papers should be related to research on college English language education or relevant areas. The JKJ especially welcomes papers that have been presented at JACET chapter or national conferences within the past year. Please check the guidelines for details on submission procedures and requirements available at <http://www.jacet-kansai.org/submission.html>. Please use our template so that we can minimize our proofreading process. Note that from JKJ No. 24, APA 7th style will be adopted instead of APA 6th.

1. Go to JACET Kansai Journal website, and submit your application no later than September 30, 23:59 JST
2. Send your manuscripts (WORD and PDF) to:
Tomoko, Saito.
JACET Kansai Journal Secretariat
jacetkj [AT] gmail.com
(Please replace [AT] with @.)

If you do not receive a message confirming the receipt of your manuscript within 3 days, please request confirmation. Only e-mail submission will be accepted. Postal submission of paper-based manuscripts will NOT be accepted. Prepare your manuscript according to the JKJ instructions using Microsoft Word. Send it as an attached file with an email message to Tomoko Saito, Secretariat, JACET Kansai Journal.

Important Dates:

- Deadline for manuscripts:
September 30, 2021 (via email as an attached file)
- Announcement of editorial decision:
December 1, 2021
- Deadline for receipt of revised final manuscripts:

January 6, 2022 (via email as an attached file)
- Publication: March 31, 2022

■ 事務局より ■

Messages from the Kansai Chapter Office

本年度は8月28日(土)から29日(日)にかけて『JACET 第60回記念国際大会(オンライン、2021)』が『JACET 創立60周年記念ウィーク』(2021年8月25日~29日)の期間中に開催されます。また、本年度のJACET 関西支部大会は、11月20日(土)にオンラインで開催予定です。どちらも奮ってご参加ください。

■ 会員情報の変更 ■

支部会員向けの各種案内の配送やメール・リストによる情報の配信に使用いたしますので、会員情報(住所、メールアドレス、所属、電話番号など)が変わられた方は、**必ず本部事務局(jacet@zb3.so-net.ne.jp)まで**ご連絡ください。なお、関西支部では名簿の作成・管理は行っておりません。

特に、支部からの案内メールが宛先不明で数多く戻ってまいります。ご登録のメールアドレスをご確認ください。

Please immediately report any changes in your address, affiliation, e-mail address, telephone numbers, and other information to **the JACET Main Office (jacet@zb3.so-net.ne.jp)**.